



## 6600 V 常温収縮型屋内終端接続部 (大サイズ)

### Cold Shrink Indoor Termination for 6600 V XLPE Cable (Large Size)

#### 1. 概要

近年、高圧ケーブル用接続部は、作業者の熟練技能を要さず、短時間施工で安定した品質が求められています。

すでに小サイズでは、簡易的に施工できる常温収縮型が使用されていますが、主に変電所2次側で使用される大サイズ(500～1600 mm<sup>2</sup>)については、スキルを必要とするテープ巻き式やストレスコーン差込式が使用されています。

今回、常温収縮チューブを適用した大サイズ(500～1600 mm<sup>2</sup>)用の常温収縮型屋内終端接続部を開発することで、現場での施工の短縮化およびスキルレス化による品質向上を実現しました。

#### 2. 仕様

製品仕様を表1に示します。

表1 仕様

項目	仕様
公称電圧	6600 V
ケーブル種類	CV
適用ケーブルサイズ	500～1600 mm <sup>2</sup>

本製品は、JEC-3409「高圧(6 kV)架橋ポリエチレンケーブル用接続部の試験法」・JCAA C 4102「600 V～11 kV 架橋ポリエチレンケーブル用テープ巻形屋内終端接続部規格」に規定する電気試験項目を満足しています。

#### 3. 特長

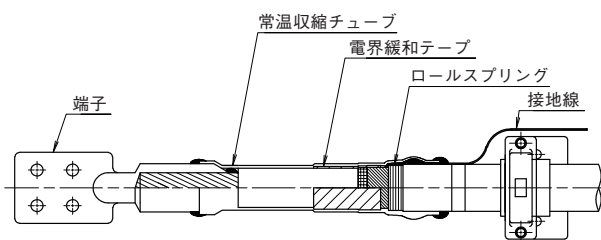


図1 常温収縮型屋内終端接続部の構造



図2 常温収縮型屋内終端接続部 外観

本製品は、以下の特長を有しています。

- (1) 絶縁層は、常温収縮チューブの内部コアを引き抜いて、チューブを収縮させることにより、簡単に形成可能です(図3)。
- (2) 同一の常温収縮チューブで500～1600 mm<sup>2</sup>の大サイズに適用できます。
- (3) ケーブル外導先端の電界緩和は、専用の電界緩和テープを巻くだけで処理が可能です。
- (4) 接地線とケーブル遮へい層との接続は、ロールスプリングを適用することでハンダ作業が不要となります。
- (5) 端末長が短くなるため、取り付けおよび施工スペースが縮小できます。
- (6) 端子部をコンパクト化し、軽量化を図りました。

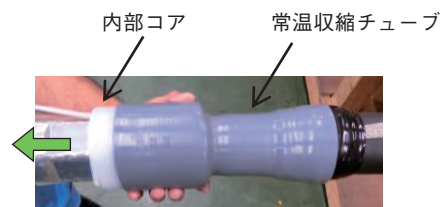


図3 常温収縮チューブ装着

表2 寸法・重量比較

項目	従来テープ式	従来差込式	本製品
全長	640 mm	455 mm	405 mm
端子重量	約5 kg	約5 kg	約3 kg
作業時間	約180分	約170分	約90分

※当社比較  
 ※全長と端子重量は1000 mm<sup>2</sup>で比較  
 ※作業時間は3相あたりの想定施工時間

問合せ先：〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1-14(キューブ川崎)  
 昭和電線ケーブルシステム(株)  
 電力・インフラ営業部 電力・電機営業課  
 電話(044)223-0534 FAX(044)223-0557